

KIESEL Okapox GF



2 液型無溶剤高純度エポキシ樹脂系プライマ

- 無溶剤
- 低エミッション EMICODE EC1 R
- 強い接着力
- モイスチャバリアとして使用可能
- エポキシモルタルのバインダーとして使用可能



特徴と用途

吸収性、非吸収性下地への塗布が可能な無溶剤で低エミッション、水を含んでいない2液型エポキシ樹脂系プライマ。屋内、屋外での使用が可能。セメント下地、石膏下地、マグネシア、アスファルト床、コンクリート、木、チップボード床、テラゾ、人口石、残留接着剤、金属下地への塗布が可能です。

本プライマは曲げ強度、接着強度、圧縮強度、磨耗強度に優れています。また、水、あく(苛性アルカリ溶液)、酸、食塩水、グリスに対し強くできています。

本プライマをセメント下地の上に塗布し、モイスチャバリアとして使うことができます。さらに、エポキシモルタルのバインダーとして使うことも可能です。

技術データ

色:	黄色がかった透明色
パッキング:	7kg アルミ缶(A 剤+B 剤) 3.5kg アルミ缶(A 剤+B 剤)
参考塗布量(ローラー):	約 200~300g/m ² (プライマ) 約 400~500g/m ² (モイスチャバリア)
密度:	1.20 g/cm ²
曲げ強度:	約 35N/mm ²
圧縮強度:	約 60N/mm ²
接着強度:	コンクリートよりも強い
施工時の温度:	10°C~25°C
耐熱範囲	-20°C~60°C
ミキシングレシオ	2:1 (重さ) 例:4kg の A 剤に 2kg の B 剤
作業可能時間*:	約 30 分
歩行可能時間*:	塗布後約 12 時間(促進剤なしの場合)
硬化時間*:	塗布後約 7 日
床下暖房:	適(埋設型)
GefstoffV	A 剤: 刺激性あり B 剤: 腐食性あり
GIS コード TRGS610:	RE1
EMICODE GEV:	EC1 R
保管:	氷点下を避けてください 適正温度: +10~+20°C 12ヶ月

* 温度 20 度、相対湿度 65%の環境下での数値。高温、低湿度の場合には、各数値はそれぞれ下がり、低温・高湿気の場合には、各数値は、それぞれ上がります。

下地

下地は DIN18365 VOB パート C または全ての技術的要求に順じ、床施工が出来る状態にあること。また、下地が十分に乾燥しており、汚れがなく、堅く、安定していることを確認して下さい。接着力を弱める恐れがあるので、下地上の汚れ、ペンキ、オイル、ワックス等を完全に除去して下さい。カルシウム硫酸塩下地には BEB に基づきグライダーがけを行い、プライマ処理を行ってください。超重歩行(フォークリフトトラックが走行するような場所)への使用の際には、下地強度を確認してください。

使用用法

ドライバーでフタの底に何箇所か穴を開け、B 剤が A 剤に流れ込むのを待ちます。空になった B 剤の缶を取り、電動ミキサーでだまがなくなるまで十分に混ぜます。混ぜ合わさった液を移し替え、再度混ぜあわせませす。モヘアローラーで下地に均一に塗布します。モイスチャバリアとして使う場合には、塗布量が 400~500g/m²となるように塗布してください。

専用工具

ローラー

工具洗浄方法

Okapox GF-V で使用後すぐに洗浄してください。

保管上の注意事項

保管に適した温度は+10~+20°Cです。保存期間が長期化すると、反応が減少する可能性があります。温度変化の繰り返により、A 剤が固まってしまう恐れがあります。固まってしまった場合には、50°Cのお湯の中に 2 時間浸けてください。固まっていた A 剤が溶解し、元通りに戻ります。液状になれば使用可能です。

梱包

45 x 7kg アルミ缶(A 剤+B 剤)
60 x 3.5kg アルミ缶(A 剤+B 剤)

備考

ここに上げられている事項は経験によるドイツ KIESEL で作られた技術データを基に訳しており、使用者の参考となることを目的としております。しかし、当社は個々の作業に携わることができません。その上、作業の環境を知ることが出来ないため使用者の作業の出来を保証することは出来ません。上記の理由により、作業をする前に必ず本資料及びラベルに書かれている内容を理解し、試し塗りを行ったうえで本作業を行うことをお勧めします。